

[本校]〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690
[新潟中央キャンパス]〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117
http://www.nu.ac.jp somu@nu.ac.jp

平成27年度(第22回)入学式

胸を張り夢は大きく316人

希望に胸膨らまし緊張気味の新入生
人、編入学生2人が、桜が開花した
みずき野キャンパスでの学生生活をス
タートさせました。

希望に胸膨らまし緊張気味の新入生
に、平山征夫学長は式辞で「目標に向
かって自ら主体的に楽しく学んでくだ
さい。幅広く深く考え
感性を豊かに
にし、包容力のある人間性豊かな

人格を形成し、多くの友と夢を語り合
い、自分の適正と能力を見定め将来の
生きる道を見出してください。主役は
皆さんです」と激励しました。

在学生を代表して情報文化学部情報
システム学科の山田和恵さんが「多く
の人と繋がって視野を広げて成長し、
自由に行動できる時間を上手に使い、
素晴らしい学びの環境を有効活用し

えました。

海外から届いた派遣留学・夏期セミ
ナー提携5大学の祝福ビデオメッセージ
ジも紹介され、気持ちを新たにした新
入生たちは、学生会館で待ち受ける各
サークルのぎやかな長い勧誘の列を
通り抜けて校舎に入り、気を引き締め
て早速ガイダンスなどに臨み新しい
歩を踏み出しました。

**学ぶことの楽しさ知り
広く深く感性を豊かに**

や考え方を
広く豊かに
したい」と
力強く抱負
を述べて応

**CONTENTS**

(2-3-4-5面)

平成27年度入学式特集
学長式辞
新入生代表・私の抱負
在学生代表・歓迎の言葉

両学部長のメッセージ

(6-7面)

ズームアップ研究室
サークル紹介Q & A (吹奏楽部)
韓国からインターンシップ
国際交流フェア案内
オープンキャンパス案内

(8-9面)

派遣留学・海外夏期セミナー帰国報告
(10-11面)
“就活解禁”直前に企業交流会
本番さながらに模擬面接
平成26年度主な就職先一覧
科学の祭典に体験ブース出展

教員の活動

(12~16面)

平成26年度卒業式特集
卒業にあたって・濃密な時間だった
学長式辞・理事長祝辞・卒業生答辞
JABEE認定10人に修了証書
特別表彰 式典スナップ



NUIS公式フェイスブック
<https://www.facebook.com/nuis.face>



NUISスクールアプリ

iPhone・iPad・Androidスマートフォン・タブレット向け
App StoreまたはGoogle Playストアから新潟国際情報大学で検索
アプリをダウンロードしてご利用ください。

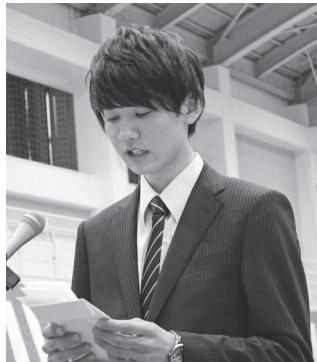
LINE@
@nuis-line3111

LINEの「友だち追加」から「ID検索」で登録

に学んでください。

先日の卒業式で大変うれしいことがあります。それは卒業生Aさんの答辞です。

第一希望の大学に入れなかつたAさんは、やむなく入学した本学の入学式で悔し涙を流したそうです。でもやりたかったロシア語の勉強をするうちに先生や同僚と素晴らしい人間関係ができ、ロシア語も上達し、「卒業する今は、この大学を選んで本当に良かったと思っています」と答辞を締めくつたのです。そこに至るにはAさんの心の葛藤と並々ならぬ努力、そして同じ境遇で入学した友人との切磋琢磨があつたと思ひます。私がこの答辞のことを皆さんにお話ししようと思ったのは、大学生活が意義深いものになるかどうかは、希望の大学に入学できたかどうかではなく、自らが大学で何を得ようと努力するかにあるからです。またですが「この大学には私の学びたいことがない」と言つて中退してゆく学生がいます。残念なことですが、私にはその学生自身に学びたいことがないのではないかと思わ



新入生代表
国際学部 国際文化学科
藤田 健人

私の抱負

季節となりました。

本日は、私たち新入生のために、このようないい入学式を行っていただきまして誠にありがとうございます。また、数々のお祝いの言葉、激励の言葉をいただき、心より厚く御礼を申し上げますとともに、身の引き締まる思いでいっぱいです。

ここ10年あまりで爆発的にインターネットが普及し、一般の人でも容易に世界となることができます。そのため、社会、文化、経済などあらゆる分野で急速にグローバル化が進んでいます。

実際に、社内の公用語を英語とする会社や、小学校での英語の必修化など、その影響は私たちが見て取れるほどに大きくなつ

国際社会に関する知識も

春寒しだいに緩み、桜の花が待ち遠しい

れて仕方ありません。皆さんのが遊びたいこと、学ぶべきことは必ずこの大学の中にあると思つて探してください。本当に無いと思つた時は私に言つてきてください。

今この入学式の場にも、Aさんと同じ気持ちの新入生がいるかもしれません。大学は本来自ら学びたいことを持つて自ら学ぶ場です。学ぶ目的をまずしっかりと持つて、学びながら徐々に自分の適正と能力を見定め、自身の将来の生きる道、生き方を見出して行つてください。そうすればこの大学を選んだことに悔いはなくなるはずです。

先ほども申し上げたように明日からの大学生はこれまでとは全く違い、限りなく自由です。自由であるからこそ自己管理をしっかり行い、メリハリのある計画的な大学生生活を送つてください。それには4年間で何を修得するか目的を立て、それを達成する計画をつくつて、それに向かって一日一日を有意義に過ごすことです。

もう一つ、あまり入学式にはふさわしくないのですが、毎年お願いしていることが

あります。学生諸君だけではなく御父母の方々にも家庭でお子さんと大学にお願いします。

それは、こうして期待に胸を膨らませて入学しながら、途中で休退学する学生が多いことです。経済的理由によるケースも増加気味ですが、何といっても勉学意欲の喪失、実質は授業についてゆけないという理由が一番多いのです。しかもよくうかがい

ますと、もっと早く相談してくれれば何とか休退学に至らずに済んだのにというケースもあります。私としましては極力こうした事態に至らぬよう大学も全力で皆さんの相談に乗つて問題解決に努めたいと思いまので、どうか悩みを抱え込まず前広に相談してください。大学に行きたくないような状態になり始めましたら、すぐにゼミの先生か学務課の担当者に相談してください。昨年から大学としても体制強化のため新しく「キャンパスライフ支援委員会」を設置し、面談などいつそうの対応力強化に努めています。私が委員長を務めています。

明日からこのみずき野の豊かな自然の中で、充実した大学生活を大いにエンジョイし、青春を謳歌してください。卒業式では、私の友人さだまささんの「風に立つライオン」の話もしました。実は、さださんのファンの人気投票では、この歌は第2位でした。第1位は意外と「主人公」というあまりみんなに歌われていないものでした。でもこの歌は「自分の人生は自分が主人公なのだだから、選んだ以上精いっぱい生きよう」という静かなエールを送り、多くの人に激励を与えてきました。明日から皆さんも「自分が主人公」の人生をスタートしてください。

さて、私は、そのような社会の中で円滑に生きてゆくためには、国際社会に関する知識と国際共通語である英語を身に付けることが必要不可欠であると私は感じています。

また、勉強だけでなく、サークル活動やボランティア活動などの課外活動にも積極的に参加し、多くの人と関わることで自分の感性や考え方を広く豊かなものにしていきたいと思っています。

新潟国際情報大学での4年間で、知識・経験ともに豊富な先生方から教えをいただきます。

本学では挨拶運動をしています。この式の後からは早速、大学内ではお互い元気よく「おはようございます」「こんにちは」と挨拶しましょう。挨拶から信頼しあう人間関係が生まれると信じてこの運動を続けています。今日から皆さんは同じ仲間として挨拶を交わしましょう。さつそうとした皆さんの大学生活ぶりを楽しみにし、学長としての歓迎の挨拶とします。



在学生代表

情報文化学部 情報システム学科
山田 和極

山田 和矩

新入生の皆さん 御入学おめでとうござ
います。新入生の皆さん入学を、在学生
一同心から歓迎いたします。また、御臨席い
ただきました多数の保護者の皆さんには、
心からお祝い申し上げます。

【人】・【時間】・【環境】を意識

中身濃いキャンバストライプを

なつた皆さんですが、皆さんは大学生活のビジュンはお持ちでしようか。まだ期待と不安が入り混じっている方もいれば、既に留学や資格取得などを考えている方もいらっしゃるかと思います。高校生活以上の大きな可能性のようなものを感じている方も多いらっしゃるのではないかでしょうか。私もこの大学に2年前に入学しましたが、入学式に新入生として出席したことをついこの間のことのように思い出せます。そのくらい、大学生活はあつという間に過ぎていきます。ですから、ぜひ皆さんには、卒業後を見据えながら中身の濃い4年間を過ごしてほしいと思います。

今回は中身の濃い大学生活を送るためには、皆さんに大学生活で意識してほしい三つのポイントについてお話ししたいと思っています。大学生活では、多くの方がこれまでより行動の幅が格段に広がると思いま

活動を充実させる二つです。もちろん、読書等に追われたりもするでしょうが、図書館に行つてみたり、クラブ活動などでスポーツやクリエイティブな活動をしてみたりすることで自分の世界が広がっていくはずです。ぜひ自分なりの時間の使い方を見つけてください。

そして、最後に「環境」についてです。新潟国際情報大学には去年新設された学生会館をはじめ、勉学、運動、交遊に役立つ施設がたくさんあります。資格取得や留学、就職等のサポート面も幅広く対応してくれます。これだけの環境を利用できる機会というものはそうないと思いますので、ぜひこれを有効活用して大学生活を送ってほしい。

の大学について詳しく知らないと思いますので、在学生とのつながりを持つことは非常に有益かと思います。また、交友関係を広げるためにクラブ活動に参加してみてはいかがでしょうか。後日クラブ紹介が行われますので、自分の興味のあるクラブをぜひ見つけてほしいと思います。

次に二つ目の「時間」についてお話しします。皆さんは、これから大学生活を送っていく中で、自分の自由に行動できる時間が多いために気付くと思います。初めのうちはなんとなく過ごすことが多いと思いますが、その時間をうまく使うことが大学生

す。どこに意識を向ければよいか迷うときもあるでしょう。そんな時に、皆さん行動を選択する助けになればと思います。その三つのポイントとは、「人」と「時間」、そして「環境」です。

まず、一つ目の「人」についてお話しします。これは人との繋がりを意識してほしいということです。人との繋がりの広さは自分の視野の広さに繋がります。交友関係を広げていくことは、新たな知識や経験を手に入れ、自分を成長させるチャンスでもあります。特に新入生の皆さん、まだこの

が大学生生活における
の醍醐味でもあり、
有意義な大学生活を
ていきましょう。

と思ひます。また多くの教職員の方や、共に学ぶ学生の存在も忘れないでください。これらは、多くの施設と同じくらい重要な環境です。一つ目のポイントである「人」でもお話ししましたが、人との繋がりの広さは自分の視野の広さです。学生同士のみならず、機会があれば教職員の方とも交流を深めてみてください。

さて、私からは三つのポイントをお話しさせていただきました。皆さんの大学生活の参考になれば幸いです。そしてこれからは、皆さん一人ひとりの能力と行動で道を切り開いていかなければなりません。大学生活には多くの選択肢が存在しますが、その選択は皆さんに委ねられています。それ

| | |
|------------|-----------|
| 日本私立大學協会会長 | 新潟県知事 |
| 新潟市長 | 新潟商工会議所会頭 |
| 株式会社日本ドリーム | 代表取締役 |
| 株式会社リクルート | 代表取締役社長 |
| 北関東マーケティング | 吉澤克彦様 |
| セコム上信越株式会社 | 野沢慎吾様 |
| 代表取締役会長 | 石崎とおる様 |
| 衆議院議員 | 衆議院議員 |

今年の2・3月の天候変化には驚かされた。寒暖がめまぐるしく変わつたり、みずき野の辺りで3月に2回も結構な量の雪が降つたり。それでも、春はコーン一を回つたようである★地域や年にもよるが、春を3月から5月の間だとすると、学び舎にとつて春は大事な区切りの時期である。言わざもがなの卒業と入学である。大学の場合、4年間で身に付けたさまざまの知識とスキルを持った若者を次のステップに送り出し、その一方で期待と希望に胸を膨らませてくる若人を次のステップとして受け入れる。われわれ教育機関の教職員の責任の重さをあらため感じるときである★日本の場合、別れと出会いの季節はこの時期に設定されているが、これは日本ならではの季節感のもたらした、非常にうまい設定であると思う。この季節、冬ごもりから抜け出すると、ものみな萌えてそれまでとはまるで違う景色が出現する。こんなにうまい設定はなかなか無いのではないだろうか。歐米のように夏休みが明けたら次のステップというは面白みがなさ過ぎる★学び舎から去つていく諸君、皆意外と自覚がないようであるが、諸君らはこの4年間で多くのことを学び多くのスキルを身に付けてきた。どうか自信を持つて次のステップに進んでほしい。また、これからも学ぶということを忘れずに、新しいことに進んで挑戦していくつてほしい★学び舎に入學してくる諸君、大学は楽しいばかりのところではないが、諸君らの人生に大きな影響を与える場である。さまざまのこと興味を持ち、自分の可能性を信じて進んでいってほしい。そして、楽しんでもほしい★私も1年間の湧き源の担当を終えて次のステップに進むことにする。

湧源

編集後記に代えて

さあ「新しい自分」を発見しよう!

新入生の皆さんへ



情報文化学部

白井 健二学部長

情報文化学部は、開学以来「情報システム学」をカリキュラムの基本としています。社会の変化に伴い、昨年度は、さらなるカリキュラム改訂を実施しました。1年から4年の各年次での

たIT教育も好評でした。
昨年度は、カナダ短期留学に10人参加しております。カナダ

から帰国後は、自分の目標が定まり、進むべき方向に向かって勉強に励んでいます。昨年から実施した東南アジア（マレーシア科学大学）への海外インターンシップもさらに拡大してマレーシア科学大学およびインドネシアのボゴール農業大学へと拡大実施予定です。情報文化学部として、積極的に海外の大学と情報システムを通して交流を進めています。

情報システムとは、単にコンピュータを中心とした技術的な

情報システムを創造、活用する



佐々木 寛学部長

皆さんはどうな経緯でこの大學に来ることになったのでしょうか。念願の第一志望だった方も多いためかもしれません。しかし「また近くにあつたから」「親に勧められたから」「第一志望の受験に失敗したから」などという方もいるかもしれません。あるいは、中学や高校の延長として「ただ何となく」「皆も行くから」大学の進学を決めたという方もいるかもしれません。

けれども、これから皆さんのがこの大學で経験する新たな出会いによって、そんな当初の動機はまるで嘘のようにつまらないものであつたことが分かると思いません。あえて言いますが、皆さんには運がいい。どんな理由で本学に

かかるやうなります。それより國際学部が誇るのは、何よりもまずその個性的な教授陣です。國際関係学を学ぶ上で、これまで嘘のようにつまらないものであつたことが分かると思いません。皆さんには1年から4年生までずっと、自分が選ん

たる大学は全国でも多くはあります。皆さんには1年から4年生までずっと、自分が選んできたやうなります。それより國際学部が誇るのは、何よりもまずその個性的な教授陣です。國際関係学を学ぶ上で、これまで嘘のようにつまらないものであつたことが分かると思いません。あえて言いますが、皆さんには運がいい。どんな理由で本学に

かかるやうなります。それより國際学部が誇るのは、何よりもまずその個性的な教授陣です。國際関係学を学ぶ上で、これまで嘘のようにつまらないものであつたことが分かると思いません。あえて言いますが、皆さんには運がいい。どんな理由で本学に

本当の学びに惜しみない支援

担当教員を配置し、学生と教員との距離が短くなり一人で悩むことがないような体制ができました。1年後期には、グループワークを主体としたPBL (Project Based Learning)を導入し、5人に1台Tabletを貸与し

入学したにせよ、これから始まる國際学部での学びと経験は、他のどんな大学や専門学校でもなかなか経験することのできない貴重なものになるとおもいます。今後皆さんには、卒業後も世界のどこに行つても胸を張ることのできる高度な教育を受ける

だ複数の先生とみつかり対話をしながら学びます。それは皆さんの中までの「勉強」とはまたたく異なります。大学での「学問」は、これまで偏差値やペーパーテストによって輪切りにされてきた皆さんの知的な可能性を再び修復し、開花させます。

また、派遣留学や個人留学、「国際交流インストラクター」制度など、学外での実践的な学びの機会も多くあります。大学での学びは、單に机に座つているだけで得られるものではありません。実際に身体を動かし、現場や社会の現実に飛び込むことによって、これまでの小さな自分の殻を突破していくことができます。「本当に学ぶとは、自分が変わること

そのため、研究の最前線で活躍する先生方と同じく時間をかけたやりとりを行います。それだけ、これら多くのチャンスがゼミナールです。ゼミナールを通じて、「勉強」が必ずしも得意でなかった学生でも、「学問」に開眼するケースが多く見られます。

また、派遣留学や個人留学、「国際交流インストラクター」制度など、学外での実践的な学びの機会も多くあります。

一方、経営コースは、情報システムの収集蓄積・処理（加工）・伝達・利用に関わる仕組みです。情報コースは、プログラミングをベースにシステムを開発できる人材の育成、また、情報システムを構築するための情報技術（含むプログラミング）とネットワークに関する知識を習得し、情報システムを創造できる人材を育成することを目指しております。新潟には、情報システム技術者が必要となります。特に製造業（自動車、部品など）、農業においてもIT

とだ」という真実を、ずっと覚えておいてもらえるとうれしいです。ただ、これら多くのチャンスは、まるで回転寿司のように、手を伸ばして、それを実際に食べてみなければ、その味のおいしさも分かりませんし、栄養も身につきません。「食わず嫌い」は、大学ではもつとも大きな罪です。

自分の可能性をあらかじめ限らず、食わず嫌いをせず、新しい事には何でも挑戦して、ぜひ「新しい自分」を発見してください。それを求める学生には、本学部の教授陣は惜しみない支援を送ります。皆さん健闘を心からお祈りします。



日本と韓国は互いに鏡のような存在。といつて
もご存じのように日本と韓国は長年「近くで遠い
国」と言われてきました。この陳腐な修飾語は、
互いの大衆文化の受容と発信、民間レベルでの活
発な交流を背景にもう消えてしまったかと思われ
ましたが、残念なことに「やはり日本と韓国は」
という両国民の気持ちの捻れを伴つて最近再び登
場しています。

私の専門は日韓比較文学ですが、ゼミでは文学
作品に限らず、政治、歴史、文化など多様な課題を
取り上げています。言ってみれば「日本」と「韓
国」が互いにぶつかり合う場。しかしそれは必ず
しも韓国人の教員と日本人の学生という構図を意味するものではありません。個人
と社会、個人と国家の関係性を視野に入れるに日本人
という差異・境界は必ずしも絶対的なものではないという
ことを、身をもつて体験し、認識を深めたうえで互いにあえて
ぶつかってみようと、教員の私もゼミ生の学生たちも臨んでい
るからです。そこに緊張感と真

柔軟な姿勢で韓国・朝鮮への理解を深め、日韓
朝関係の望ましい近未来像について一緒に考えて
いきたいと思います。「近くで遠い国」という陳
腐な修飾語が完全に消える日を待ち望みながら。

日本と韓国は互いに鏡のような存在。といつて
もご存じのように日本と韓国は長年「近くで遠い
国」と言われてきました。この陳腐な修飾語は、
互いの大衆文化の受容と発信、民間レベルでの活
発な交流を背景にもう消えてしまったかと思われ
ましたが、残念なことに「やはり日本と韓国は」
という両国民の気持ちの捻れを伴つて最近再び登
場しています。

私の専門は日韓比較文学ですが、ゼミでは文学
作品に限らず、政治、歴史、文化など多様な課題を
取り上げています。言ってみれば「日本」と「韓
国」が互いにぶつかり合う場。しかしそれは必ず
しも韓国人の教員と日本人の学生という構図を意味するものではありません。個人
と社会、個人と国家の関係性を視野に入れるに日本人
という差異・境界は必ずしも絶対的なものではないという
ことを、身をもつて体験し、認
識を深めたうえで互いにあえて
ぶつかってみようと、教員の私
もゼミ生の学生たちも臨んでい
るからです。そこに緊張感と真

情報文化学科 申 銀珠教授



陳腐な「近くで遠い国」の修飾語が消えるまで

**日韓両国の課題を比較し
相互理解の大切さを学ぶ**

4年・瀧川 未来

私は、パワーあふれる申先生の下、共
に派遣留学を経験し、和気あいあいとした9
人のメンバーで、文化・政治・歴史を中心
に日韓両国の比較を通して両国の抱える問題に
ついて研究しています。

3年後期は、第二次世界大戦がもたらした
出来事やその現代に至るまでの影響をさまざ
まな角度から学びました。また、私たちは実
際に韓国へ現地学習に行き、ゼミで採り上げ
た人物に関する場所などを訪れ、韓国側から
見た日本を知るという機会を設けました。申
ゼミでは、日韓両国を比較することで相互理
解の大切さを学ぶことができます。

劍さが生まれるといえましょう。

文学作品を通して過去の支配・被支配の不幸な
時代を生きた人々の姿に、真摯に向き合つて理解
することが申ゼミの大きなテーマの一つですが、
それには当然、日本社会の「在日」または「在日
問題」も含まれます。関連図書を読んで発表し議
論を進める他、韓国社会や在日社会を描いた映画
やドラマを鑑賞し、感想を述べ合つたりもします。
また今現在進行中のさまざまな問題についても詳
くつていこうと努めています。

現在の部員は5人と少ないですが、だからこそ全員
がまとまって厳しい上下関
係もなく、和気あいあいと
した雰囲気です。また、交
歓会や学生ウインドアンサン
ブルは他大学と共に大人
数で演奏でき良い経験にな
ると思います。経験者初
心者問わず大
歓迎、ぜひ気
軽に部活動見
学に来てみて
ください。

吹奏楽部



Q. 活動状況を教えてください。
去年までは、毎週火・木曜
の午後6時から7時40分ま
で教室を借りて練習してい
ました。今年からは新しい
学生会館2階のスタジオで
練習することになります。
**Q. どんな大会(演奏会)に
参加していますか。**
去年は4月に大学の近く
の中原邸でのイベントで演
奏したほか、学内では前期
に音楽祭、後期には紅葉祭、
卒業式での演奏、学外では
夏に新潟県内8大学吹奏樂
交歓会、冬に新潟県学生ウ
インドアンサンブルに参加
しています。

**Q. 吹奏楽部を一言でアピ
ールしてください。**
少ない人数だからこそその
団結力のある部活です!
**Q. 入部のきっかけは何で
すか?**
幼い頃に姉がピアノを弾
いていたのに影響されたと
いう人や単に音楽が好きで
ちょっと楽器を吹いてみた
いという軽い気持ちで始めた
人などさまざまです。

**Q. あなたにとつて、吹奏
楽部とは?**
一生続けていきたい趣味
と一緒にできる場です。

新潟国際情報大学でのインターンシップが決まった時、私より先にインターンに来ていた先輩たちが、新潟国際情報大学の素晴しさを語ってくれながら、とてもよい経験になるだろうと言つてくれました。ここに来るまではその意味がよ



成長を実感

派遣留学・海外セミナー帰国報告会

実り多い体験、大きな成長：昨年度の派遣留学（情報文化学科）と海外夏期セミナー（情報システム学科）の帰国報告会が2月5日、本校（みずき野キャンパス）の国際交流センターで開かれました。

今回の5カ国への参加学生は合わせて63人。多様な文化に触れた新たな発見や貴重な体験、言語・文化や生活習慣の全く違う海外生活での不安と克服などが5コースの代表から力強く報告されました。また、友人

やホストファミリーとの交流の楽しい思い出、上達した語学力を披露してのスピーチもあり、実り多かった充実した留学生活の報告がありました。



国際交流フェア

日時 平成27年 5/31(日) 13:00~16:00

会場 新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス
新潟市中央区上大川前通7
(新潟駅万代口より市内バス5分「本町」下車)

高校生 英語スピーチコンテスト
13:00~14:30
テーマ「私ができる国際交流」

新潟国際情報大学生による 留学報告会
14:30~15:50
カナダ・中国・ロシア・韓国・アメリカ

入場無料

生たちが卒論を準備し中間発表会を行っていることや、韓半島未来財団の脱北学生たちと楽しく交流をする姿を見ました。また韓国語授業を聽講しながら授業がどのように行われているかを見て、授業運用方法を学ぶ

「韓国社会と若者文化」というタイトルで講義をする機会を得ました。日本語がよくできないので申銀珠先生が通訳をしてくださいましたが、受講学生みんなが質疑応答の時間にはたくさ

「韓国社会と若者文化」を特別講義

韓国からインターナショナル 李智映(イ・ジヨン)さん

く分かりませんでしたが、来てみてその意味を自分ではつきりと理解することができます。先生の前で私が直接授業を行ったことはとてもいい経験でした。少人数クラスで、いろいろな経験をさせていただきました。学

国朝鮮文化論』の授業では、新潟国際情報大学は、キ

んの質問をしてくれる姿がとても印象的でした。この生方のお姿に深く感銘を受けました。そして学生たちと一緒に親しくなれたと思いがうらやましくなりました。学生たちもとても情熱を持っています。

研究室を訪ねてきた学生たちとたくさんの中とたくさんの話をすることで、学生たちの真面目さや一生懸命さを感じることができました。

短い期間でしたが、言葉では言い尽くせないほどた

くさんのことを学びました。韓国に帰つても新潟国際情報大学のことを決して忘れない。このような素晴らしい機会を与えていたが、受講学生みんなが存在だと思います。お忙しそうでも真剣に聞いていて、とても感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

オープンキャンパス

高校生はじめ どなたでもご参加できます！

- 学部およびカリキュラム説明
- 入試情報説明
- 入試問題の傾向と対策
- 模擬講義
- 語学体験
- 個別入試相談
- 個別就職相談
- 海外留学相談
- 保護者向けプログラム
- 学生との懇談

会場 新潟国際情報大学 本校

新潟市西区みずき野3-1-1 (JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)
【参考お申込み】高校の進路指導の先生、もしくは右記までお申込みください。
※時間が変更となる場合もありますので事前にご確認ください。

新潟国際情報大学 入試・広報課

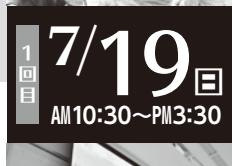
〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
TEL 025-264-3777(直) FAX 025-264-3780

お問い合わせ先

E-mail nyushikouho@nuis.ac.jp



OPEN
CAMPUS
2015



挑戦し学んだ有意義な日々

私たちちは4カ月間ロシアのウラジオストク国立経済サービス大学（ВГУЭС）へ留学しました。この4カ月間は私にとつて非常に有意義な日々でした。

初めのころは不安も多く日本との生活の違いに多少困惑もしました。トイレに紙を流せなかつたり、水道水を飲めなかつたりと日本とはこんなにも違うのかと驚きました。例えばスーパーマーでの体験。日本の店員はみんなが笑顔で「いらっしゃいませ！」という風に対応してくれますが、ロシアの店員は不愛想で



情報文化学科
今井 勇希

生活の違いに困惑も

大きなお金を出すと「もつと細かい金は持つてないのか!」といふ風に、日本では考えられないような対応もされました。しかし、ロシア人の先生方や生徒たちはみんな温かく接してくれました。

るうちに徐々に慣れていき、気が付けば自然と聞き取れるようになつていきました。授業以外で他の国の留学生とロシア語でコミュニケーションをとつているうちにロシア語のスキルは向上していきました。

私はこの留学で多くの友人ができました。彼らは私よりも圧倒的にロシア語のスキルがあり、彼らの言っているロシア語

上してくれたり、もつと簡単な単語で話してくれたりしました。彼らともつといっぱい話したかったので、必死で勉強しました。彼らの存在が私のロシア語を学ぶ上でもとてもプラスであり、何より彼らと一緒にいることがとても楽しかったです。彼らには本当に感謝しています。



情報文化学科
加藤 龍太

中国コース

私が理解できるようゆつくり話してくれたり、もう簡単な単語で話してくれたりしました。彼らともつといっぱい話したかったので、必死で勉強しました。彼らの存在が私のロシア語を学ぶ上でもとてもプラスであり、何より彼らと一緒にいることがとても楽しかったです。彼らに本当に感謝しています。

体験を生かせる職業に

生活を充実させようと日々勉強し、外国の友人と交流し、悔いのないよう毎日を楽しく過ごしていました。

まず私が皆さんに伝えたいのは、中国という国はとても良い国だということです。留学する前に、私の両親の北京に対する印象は良くないもので、治安が悪い、反日感情が強いというものがでした。しかし私が実際に体験した北京は、夜に一人で歩いても街は明るくて安全であり、反日感情を持つ人は全くいませんでした。「百聞は一見にしかず」という言葉はまさにこのことで、実際にその文化・人々に触れるということは非常に大事なことなのだと感じました。この体験を両親に話すと中国への印象は変わり、良い国なのだと認識するようになりました。

私はより外国の異文化・国際関係について勉強したいと思いまし、興味の幅もより広がりました。この体験を生かし、私は日

勉強の成果をスピーチ



情報文化学科
大島 千歳

アメリカコース

私は8月中旬から12月中旬までの約4カ月間アメリカのノースウェストミズーリ州立大学に留学してきました。今日はアメリカでの授業や大学生活、ほか大学の外での体験について、勉強の成果と復習をかねて英

語でスピーチさせていただきたいと思います。

First, I'll tell you about my class. Secondly, I'll tell you about my college life. Lastly, I'll tell you about my Thanksgiving Day.

First of all, it's sure that my class made me improve. In first two months, I was really nervous every day because it was difficult for me to understand what I should do in my class. Although I did not understand what the teachers said, I had a lot of homework. But it gave me many vocabularies and self-confidence, and now I can tell my opinions. Everything was getting better than beginning. And my classmates were interesting and funny. I wish that I could study with them again.

Secondly, I enjoyed living in the Northwest Missouri State University. There were many events such as Paint Party, Football Games, and We The Kings' Concert. We do not have these in Japan, so I was really excited. And I made friends who are not from Japan, and I sometimes hung out with them to eat and shop. I enjoyed American school life.

Lastly, my Thanksgiving Day is the best memory for me. I've stayed with some families for five days. My host, Bob and Terri, are very nice. Their house was beautiful, and I helped their Christmas decollating. I was so comfortable, and I really liked them. This was my first time to speak really only English. Nobody understands Japanese around me in whole break, so I spoke English so much. It was a little hard, but I'm so glad to meet them.

In conclusion, this study abroad became my greatest experience in my life so far. My English skill became much better than before. It was not only good things, but my challenges made me strong. I'm sure that my choice which I went to America was great for myself, and I really want to go back again. Thank you for your listening.

ありがとうございました。

文化の違いに新鮮な驚き

今回の留学を経験して、私の日々の生活が変わりました。自分の中で最も大きく変わったと実感できることは、初対面の人を相手にしたときの対応です。

私はこの渡航前、とても恥ずかしがり屋で、道を尋ねるために知らすらもできませんはできるようにな

カナダでは、自分が聞きたいことも「英語だとどのように表現すれば良いのだろうか」と考え、その時思ったことは「日本語ならば簡単に聞くことができるのに」ということでした。もちろん、英語でも自分が聞きたいことがあるなら積極的に聞くことが大事であると思い、簡単なことなら、なるべく聞くようにしました。それからは、知りたいことは積極的に英語を使ってクラスメートに聞くことにしました。授業で使った英語が何か尋ねるときに使えました。

こうした思いをしたので、日本に帰ってきてからは、恥ずかしがり屋の私も他人に聞けるようになって、自分は変わったなと実感できるようになりました。

カナダでは当初、不安だらけで、生きていけるか心配でしたが、実際に行ってみると不安はなくなり、行ってよかったです。そして、楽しみにしていたBanffやゴルフですが、やっぱり楽しいものでした。渡航前にGoogleで調べたBanffは、写真に収めようと思っても収まらないほど大きな素晴らしい景色で、「心のアルバム」にしっかりと記録しました。

多くの思い出ができました。物事の考え方や、人を相手にしたときの対応の仕方が日本と違い、とても新鮮でした。一日一日がとても濃密で、帰ってきたときは、とても疲労感がありましたが、楽しい貴重な日々でした。

ここで最後に、ちょっとだけ英語で話したいと思います。

I'm pretty sure none of this would have happened if I hadn't been gone to Canada. I'm sure this would have changed my shyness. Sometimes life hits you in the head with a brick. Don't lose faith. I'm convinced that the only thing that kept me going was that I wanted to know everything. If you haven't found it yet, keep looking. As with all matters of the heart, you'll know when you find it. It just gets better and better as the years roll on. So keep looking until you find it. Don't be shy. Thank you.



カナダコース

情報システム学科
大柴 千尋

自分は変わったと実感

本の人たちに私が体験した中国の文化を知つてもらうために、メディアへ情報を提供するジヤーナリスト、日本人の人たちにより中国を知つてもらうツアー、コンダクターなどの職業に就きました。

また中国でたくさんの友人ができたことは、何よりも貴重な財産になつたと思います。一緒に留学を体験した同志はもちろん、日本語の通じない外国人の人たちとも交友関係を結びました。大学生というのは損得勘定や仕事の人間関係が関わらない、親しい友人をつくるチャンスだと聞いたことがあります。彼らとの交流はともに中国語を教え合い、お互いを高め合うよきライバルともいえるような関係であり、生涯の友人であり、私はこのメンバーと共に留学生生活を過ごしたことを誇りに思います。

情報文化学科
竹部 祐太

韓国ニュース



中国



韓国



カナダ

こんなちはやは私たちは韓国のソウルに約4ヶ月間の留学をしてきました。この間で得たものは本当に多く、語学力の上達や、さまざまな発見、外国人の友達をはじめとする人との出会いなど、自分にとって全てのことが新鮮で良い経験になりました。

今回で韓国に訪れたのは2回目でしたが、留学の体験では旅行だけでは分からぬことを知

ることができる。さまざまなことを経験できる機会でした。実際に生活をしてみると、苦労もありますがとても楽しいです。何よりいろんな国の留学生との交流は、私の持つイメージとの違ひに気づく機会になりました。私が最も苦労したのは、コミュニケーションでした。最初の頃は韓国人の友達にはゆっくり話してもらったり、言葉を省略

しないでもらつたりしました。しかし、徐々にいろいろな人といろいろなことを話すようにならうのがとても楽しく、努力するようになりました。また、外国人留学生同士は英語でコミュニケーションをとることもよくあります。これも苦労しました。私にとって英語は韓国語よりもはるかに難しいため、諦めてしまっていましたが、そのおかげもあり、韓国語が上達したようにも思います。しかし、韓国語と同時に英語を勉強できるという点は第二外国語圏留学の良い点であるとも思うので、英語に挑戦してみるのも良いと思います。

挑戦という部分では、私は自分の関心のあるファンションを通じて留学を充実させました。それは、買い物から始まり、スナップ撮影やファッショニウイナーへの参加などの活動を通して、多くの人と交流することで経験になりました。これはとても刺激的ありました。

平成26年度卒業生 主な就職先一覧

| | | | | |
|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|------------------|
| 株アーカベル | (株)熊谷 | 株高助 | 新潟ダイヤモンド電子(株) | 防衛省 自衛隊 |
| アーフラントサカモト(株) | クラッシュアンドカンパニーグループ | (株)たかだ | 新潟中央青果(株) | 北新越ホーム(株) |
| (株)アイエスエフネット | (株)ゲイン | 高野ガス(株) | 新潟中央ホンダ販売(株) | (株)ホテル新潟 |
| アイジャパン(株) | コマツレンタル(株) | 株タカヨシ | 新潟日産自動車(株) | 株本宏製作所 |
| アクシアルリティリンググループ | (株)コメリ | 株タチカワ | (株)新潟フジカラー | 株ホンダオート新発田 |
| (株)アサンテ | (株)コロナ | 株タップカンパニー | 西巻印刷(株) | 株ホンダ四輪販売新潟 |
| 株アスカプランニング | (株)サイニックス | 株近正 | (株)日産サティオ新潟 | 株マイナビ |
| アルファテクノロジー(株) | サイバーコム(株) | チモロ(株) | 株日産サティオ新潟西 | 株マツモトキヨシ甲信越販売 |
| 株ヰセキ信越 | (株)三愛 | 中越クリーンサービス(株) | 日産部品新潟販売(株) | 丸井産業(株) |
| (株)イタヤ | (株)サンケイ情報ファシリティ | 中越通運(株) | 日本郵便(株) | 株マルト長谷川工作所 |
| 株インターロクス | (株)サンソウシステムズ | 燕市役所 | 日本生命保険(相) | 株丸山自動車 |
| (株)上野 | (株)三宝 | (株)つるや | 日本フローサーブ(株) | 株マンションセンター |
| (株)ウエマツ | (株)シアンス | 東京コンピュータサービス(株) | 株日本旅行 | ミサワホーム北越(株) |
| (株)ウエルストーン | JA越後おぢや | (株)東横イン | ネッツトヨタ新潟(株) | 株三ツ葉パーツ |
| (株)ウォロク | JA越後さんとう | (株)TOSYS | (株)ハードオフコーポレーション | (有)ミドリ工務店 |
| (株)エイジェック | JA柏崎 | (株)トカン | パートナーズプロジェクト税理士法人 | (介護福祉事業部:浜浦俱楽部) |
| 株エクセルシステム | JA豊栄 | (医)徳真会グループ | ハーバー・ハウス(株) | 源川医科器械(株) |
| 株NS・コンピュータサービス | JA新潟厚生連 | (株)トップワイヤバン | (株)ハーモニック | 株宮島化学工業 |
| 株エヌ・ティ・エス | 株システムアート | 外山産業グループ | パール金属(株) | 株ミロク情報サービス |
| 株エムテートリマツ | 新発田信用金庫 | トヨタカローラ新潟(株) | (株)バイタルネット | 明和工業(株) |
| 株大原鉄工所 | 株シマキユウ | トヨタ東京カローラ(株) | パクマ工業(株) | モトレーンニイガタ(株) |
| 岡三にいがた証券(株) | 昭和電機産業(株) | (株)トラステック | (株)長谷川興産 | 森井紙器工業(株) |
| 小形商工(株) | 株シリウス | (株)ナインエンターテイメント | 長谷川ホールディングス(株) | (株)モリタ装芸 |
| 小木工業(株) | 新日本海フェリー(株) | 株ナカムラ | (株)パナハートカハシ | (医)優樹会 岩塚診療所 |
| (株)オスター技研 | シンワ測定(株) | 新潟運輸(株) | 株ハヤマ | 株吉運堂 |
| 株小野組 | (株)ズスキ自販新潟 | (株)新潟エヌステーエヌ | (株)BSNアイネット | 株吉田工業 |
| 株カネコ・コーポレーション | (株)スプリックス | (株)新潟クボタ | 東日本ハウス(株) | 株ヨドバシカメラ |
| 株川内自動車 | 株スペースアルファーシステム | 新潟県警察 | 東日本旅客鉄道(株) | 株リオン・ドールコーポレーション |
| 株かんぽ生命保険 | 株セントラルパートナーズ | 新潟県信用組合 | 株ビット・エイ | 株菱電社 |
| 株吉兆業 | 株総合システムプロダクト | 新潟交通商事(株) | 株ひらせいホームセンター | 株リンクコーポレーション |
| 株キューピット | 株ソリマチ経営 | 新潟サンリーン(株) | 株福田組 | 株ワタナベ |
| (株)さりやか銀行 | 株大光銀行 | 新潟自動車産業(株) | 藤田金属(株) | ワタナベグループ |
| フオリカ(株) | 株第四銀行 | 新潟証券(株) | (株)富士通新潟システムズ | 株渡辺製作所 |
| 株クスリのアオキ | 大和冷機工業(株) | 新潟綜合警備保障(株) | 藤寅工業(株) | 和平フレイズ(株) |
| 株クボ製作所 | 株高儀 | (株)新潟ダイハツモータース | 藤村フューム管(株) | |

平成27年3月現在〈五十音順〉



「光受信機を作ってリモコンの光を聞いてみよう!!」

昨年に続き近藤研究室の4学生

からの音楽を送
LEDの光にして、その光を受
信機で電気に変
え、スピーカーからその音楽が聞こえると、多くの来場者から歓声が上がつていました。

「青少年のための科学の祭典」新潟県大会が長岡市のアオーレ長岡で2月7、8日の両日に開催され、昨年に続き本学情報システム学科の近藤進教授と同研究室の学生4人が体験ブースを展開しました。

この祭典は、青少年が自分で実験や工作を体験し、科学の面白さを実感できる平成4年から始まったイベント。今年は2日間で1万3000人を超える入場者がありました。

同研究室のブースのタイトルは「光受信機を作つてリモコンの光を聞いてみよう!」。出展ブースでは半田付けをしないで回路を組めるブレッドボードを使つて、光送受信機を製作する体験を行いました。光受信機に向けてリモコンのボタンを押すと、見えない赤外線でブツブツとデジタル音が聞こえることを確認してもらいました。

また、スマホからの音楽を送信機でいたんLEDの光にし

3) 競爭的資金獲得研究

内田 亨(情報システム学科・教授)

- ・(2014年7月～2015年3月) 大学生の力を活かした集落活性化事業「温泉集客策の提言による地域活性化～妙高市燕温泉を事例に～」

近山 英輔(情報システム学科・准教授)

- ・(2015年3月～2016年3月) 平成26年度「農林水産業の革新的技術緊急展開事業（うち技術革新を加速化する最先端分析技術の応用）」「食品のプロファイル解析プラットフォームの構築と実証研究」

4) 委員・社会的活動・記事・その他

内田 亨(情報システム学科・教授)

- ・(2014年7月29日)「行政と住民のコラボレーションー区自治協議会を中心にー」「にいがた市民講座『新潟学コース』(大学コンソーシアム連携講座) まちづくりの現在と行方」(新潟市生涯学習センター(クロスバルにいがた))
 - ・(2014年9月6日) 大学生の力を活かした集落活性化事業一妙高燕温泉地の活性化中間報告書(新潟県経営管理部地域政策課提出)
 - ・(2014年9月13日) 大学生の力を活かした集落活性化事業一妙高燕温泉地の活性化中間報告(新潟県庁講堂)
 - ・(2014年10月5日) 「おいしい！」を言葉にー特産品から考える味の表現ー『新潟市西区特色ある区づくり事業』(新潟市西区みどりと森の運動公園)

- ・(2014年12月16日)「行政と住民のコラボレーション—区自治協議会を中心とした第8回ゼミナール」【『いがた市民大学講座「新潟湯学コース（大学コンソーシアム連携講座）まちづくりの現在と行方』（新潟市生涯学習センター（クロスマップ）いがた）】

- ・(2015年3月11日) 「新潟市庄内百景」（プロスバルにいかん）
- ・(2015年3月6日) 温泉集客策の提言による地域活性化～妙高市燕温泉を事例に～最終報告書（新潟県総務管理部地域政策課提出）
- ・(2015年3月17日) 温泉集客策の提言による地域活性化～妙高市燕温泉を事例に～最終報告（新潟県農業課）

潟県厅講堂)

- ・(2014年12月14日) 衆議院議員選挙新潟選舉区解説（テレビ朝日系列UXテレビ『選挙ステーション』）

近藤 進(情報システム学科教授)

- ・(2007年4月1日から継続)し熱情報通信懇談会新世代情報通信網委員会委員長
佐藤 泰子(国際文化学科・英語講師)
(2014年9月24日～2日21日)平成26年新潟市システムプロエクション認定事業「留学生ヒューマン

(2014年9月24日～3月31日) 平成26年
発信！食と郷土文化を学ぶ岩室温泉

- Let's おもてなし！新潟初バーリングルなまらあるきガイドへの道 運営委員（通訳ガイドサポート）（岩室公民館／いわむらや他）
近山 英輔（情報システム学科准教授）
・（2014年12月13日）相田大地 他「センサを用いた自動作曲アプリの開発」スマホアプリ発表会

(実例紹介とアイデアソン) (本学新)

就活解禁!!直前に「企業交流会」

来春3月卒業生の採用スケジュールは、「広報活動開始」が3月1日以降に、「選考活動開始」は8月1日以降と定められました。今年3月卒業生に比べ3ヵ月の後ろ倒し

となり、短期決戦の中で就職活動となりました。早い企業研究や卒業後の進路(就職先)を明確に定め、積極的に行動することが就活を成功させる大きな要因ともいえま

し、事前に約200社からアンケートにお答えいただき実施に至りました。初の「企業交流会」は2月4、5日の2日間にわたり、県内外より19

社が参加する「人物像」など幅広い視点で交流を図りました。参加企業からは「就活が始まる前に、業界研究ができるのは素晴らしい」という意見だつた。「学生がより多くの企業に触れる良いオペレーションだつた」「学生がいろいろな職種の方と話ができる非常に良いシ

内定に向かつて好スタート!

192社が参加

短期決戦に備え積極策



本学では各ガイダンスやセミナー等で、県内外の企業をお迎えし、業界研究も数回実施してきましたが、講義回数に限度があり、就職活動目前に企業と学生が接点を持て

2社の企業・団体よりご参加いただき、241人の学生が参加しました。

「1回の説明時間が短い」などの意見もあり、次年度にはより良い交流会となるよう努めたいと思います。また、参加学生は企業の人事採用担当者とコミュニケーションを図

るだけです。午前の講座では、グループディスカッションや面接の実践を通じて自分らしさを確認。採用選考の対策を立てるとともに、どうやたら自分らしい活動ができるのかを考えました。具体的には「伝わる採用選考のポイント」と題して「伝えた私」を準備し、一貫して伝える。応募書類、面接に共通するポイントとして、エピソードや経験を伝える留意点を考え、またグループディスカッションの実践

午後の講座はグループに分かれ、本番を想定した面接実践トレーニングを行いました。3年生も面接官や観察者の立場になつて面接を行うなど視点を変えて、多くの気づきと本番に向

教員の活動 (本人申告による)

3年生向け就職支援として毎年実施している「就職模擬面接講座」が2月14日、本校みずき野キャンパスで開催されました。この講座は平成17年から実施され、就職活動開始前の実践講座として評価されています。また、キャリアコンサルタントや就職支援業者、社会人、卒業生、4年生を講師として県内外から招き、さまざま面接パタンで学生にアドバイスしました。就職活動の日程変更で、採用活動の流れが見

えにくく、就職情報サイトなどからのエントリーや説明会への誘導が例年以上に強いともいわれています。

就活に王道はなく、多く学生トリーや説明会をこなせば内定が近づくのか、少數に絞り込んで集中して対策を練つたほうが効果的なのか、などと考え方もさまざまです。情報に流されず、自分に合った就職活動を進めることの大切さを身に付け、逆に、自分に合わない活動をしたり、背伸びしてアピールしたりすると疲れ

情報に流されずに

午前の講座では、グループディスカッションや面接の実践を通じて自分らしさを確認。採用選考の対策を立てるとともに、どうやたら自分らしい活動ができるのかを考えました。具体的には「伝わる採用選考のポイント」と題して「伝えた私」を準備し、一貫して伝える。応募書類、面接に共通するポイントとして、エピソードや経験を伝える留意点を考え、またグループディスカッションの実践

自分らしい活動を

対策を学び、併せて面接マナーの練習を行いました。午後の講座はグループに分かれ、本番を想定した面接実践トレーニングを行いました。3年生も面接官や観察者の立場になつて面接を行うなど視点を変えて、多くの気づきと本番に向

う活動で採用が決められるよ

1) 研究論文・図書

内田 亨(情報システム学科・教授)

- (2015年) 「医療機関のガバナンス構築への取り組み」『medical forum CHUGAI』19巻1号(47頁)

區 建英(国際文化学科・教授)

- (2014年) 「丸山真男思想史学与日本の改革」『思想』第27期 台湾聯經出版社(59-86頁)
- (2015年) 「嚴復思想中的国民形成与「中学」價值重構」『道家文化研究』第28輯 三聯書店(315-332頁)
- (2015年) 「解讀嚴復的自由觀與公共精神」『嚴復与近代中国社会思潮』 天津人民出版社(196-217頁)

神長 英輔(国際文化学科・准教授)

- (2014年) 『「北洋」の誕生 場と人と物語』成文社

白井 健二(情報システム学科・教授)

- (2014年) "Validity of Production Flow Determined by the Phase Difference in the Gradient System of an Autonomous Decentralized System" International Journal of Innovative Computing, Information and Control 10 (5) 1727-1746
- (2014年) "Throughput Improvement Strategy for Nonlinear Characteristics in the Production Processes" International Journal of Innovative Computing, Information and Control 10 (2) 1983-1997

- (2015年) "Production Throughput Evaluation Using the Vasicek Model" International Journal of Innovative Computing, Information and Control 11 (1) 1-17

藤本 直生(国際文化学科・准教授)

- (2015年) "I was in their shoes": Shifting Perceptions of Editorial Roles and Responsibilities" The Journal of the English Scholars Beyond Borders (ESBB) 1 (1) 109-142

2) 学会・研究会・講演等

石川 洋(情報システム学科・准教授)

- (2014年12月11日～13日) 「ProBを用いたVDMの陰仕様の解釈実行の試み」(第21回ソフトウェア工学の基礎ワークショップ 霧島国際ホテル)

區 建英(国際文化学科・教授)

- (2015年1月11日) 「丸山真男の方法と中国思想の省察」(同志社大学人文科学研究所第84回公開講演会 同志社大学)

藤本 直生(国際文化学科・准教授)

- (2014年3月20日～5月22日) "I was in their shoes": Shifting Perceptions of Editorial Roles and Responsibilities" (1st The English Scholars Beyond Borders (ESBB) Conference Dokuz Eylul Universit - Turkey)
- (2015年2月5日～7日) "Sustaining Reviewing Quality: Induction, Mentoring, and Community" (2nd ESBB Conference Bangkok - Thailand)

一番学ぶことができたのは、人のつながりの大切さだと感じています。一緒に勉学や遊びに付き合ってくれた友人たち、サークルでは率先して盛り上げてくれた先輩方、つまずいたときにはアドバイスを必ずくれ励ましてくれる先生方、優しさで溢れだは勉学は優しくて溢れだは優しくて溢れた人が周りを囲んでくれていました。

1年次の頃は、緊張しながら自分で時間割を設定し、単位を取得するため一生懸命計画を立てていました。情報システムという専門的な知識を友人たちと共に学び、球技大会では全員参加の大縄跳び大会で上位に入賞したことからチームと先生で焼き芋を食べました。

陸上競技部で過ごした4年間は、これまでの人生で最も密度の濃い時間でした。

入部当初は部員数が私を含め2名という、高校時代のような充実した練習環境とは一転し、非常に酷な状況からのスタートでしたが、110mハーデルで全日本インカレを目標に可能性を信じて練習をしてきました。試行錯誤を繰り返していく中で1年次から自己ベストを何度も

就職活動は自分の意志が
本当に重要な人生の分
かりました。周辺だと感じました。周
かれ道だと感じました。周
りが先に就職先を決めて、
取り残されたことに焦りを
感じて手当たり次第エントリ
ーしてしまったこともあります。
精神的につらい場
面でもキャリア支援課の先
生厚いサポートをしていました。
勉強も始めました。本学で
は資格取得すると奨学金が
出ることから勉学の面でも
F.P.の資格取得を目指して
学生生活にもすっかり慣れ、少し余裕もできたため
勉強も始めました。本学で
は資格取得すると奨学金が
出ることから勉学の面でも
F.P.の資格取得を目指して
学生生活にもすっかり慣れ、少し余裕もできたため
勉強も始めました。本学で

優しさ溢れた人々に囲まれ

情報システム学科
木下
和

は、緊張しながら自分で時間割を設定し、単位を取得して、そして3年次になり就するため一生懸命計画を立てていました。情報システムという専門的な知識を友人たちと共に学び、球技大会では全員参加の大縄跳び大会で上位に入賞したことからチームと先生で焼き料になりました。

たきました。

職、ということを意識し始めていました。インターンシップで柏崎地域振興局に。実際に働くことで職種の本当の姿を把握することができ、就職活動する際の大切な判断材料になりました。

内定をいたたくことができました。この結果は周りのサポートなしでは絶対に成し得なかつたと思います。皆さんに恩返しができるよう、社会人として一歩一歩歩み続けていきたいです。

困難をチャンスとして捉えて実行してきましたからこそ結果に繋がったのだと思います。これらの実行の原動力は、自分の周りにいる家族や友達、先輩や後輩、指導していただいた先生方がいたからこそだと思います。とても感謝しています。

掛け替えのない濃密な時間だった

この4年間、最も多くの時間を費やし最も心に残っているものといえば学友会活動です。きっかけは本当に些細なことで、自分と同じ中学、高校の学生がわずかだったことで「ここに入れば大学のこと」を少しは知る

がむしゃらに学友会活動

情報文化学科 大沼竜一

行部に入つたのが始まりで、員、職員、近隣や地域の住民など)の要望等を踏まえて一番良い結果をつくつて、いく難しさを実感しました。これを糧に3、4年次には学友会長として職務にあつた。学生に限らずさまざまなお話をうながしながら大学で面白いことができないかとあつた。

もたらした影響と、いうのは
計り知れませんし、また今
後大学が発展していくにつ
かけになればこの上ない
大学生活だったと思いま
す。

行部に入つたのが始まりで、員、職員、近隣や地域の住民など)の要望等を踏まえて一番良い結果をつくつてしゃらに活動し、執行部のいく難しさを実感しました。1年次にはとにかくがむしゃらに活動し、執行部の学生に限らずさまざまな学生と協力しながら大学で面白いことができないかとあは学友会長として職務にあ

「やりたいことは全部やる」これが私の大学生活のモットーです。入学すると早速、国際交流インストラクター や学友会、合唱部などに所属しました。同時に出身ということもあり、東京の大学で過ごす生活の中でも私が最も尽力したのは「災害ボランティア団体nus_project」の設立および運営です。福島県金制度に応募したことも良い経験となりました。

災害ボランティアに尽力

情報文化学科 山口 裕加

災害ボランティアに尽力

2年次にはロシアへの派遣留学に参加しました。帰国後はロシア語

情報文化学科 山口 裕加

のような充実した練習環境とは一転し、非常に酷な状況からのスタ

ートでしたが、110mハーネリードルで全日本インカレを目標に可能性を信じて練習をしてきました。試行錯誤をして繰り返していく中で1年次から自己ベストを何度も更新し、3年次で北信越インカレ優勝、4年次では北日本インカレで優勝するなど、結果として目標達成となりました。

実行の原動力は、自分の周りにいる家族や友達、先輩や後輩、指導していただいた先生方がいたからこそだと思います。とても感謝しています。

諦めず全日本インカレ出場

情報システム学科 本間竜一

本間竜一

災害ボランティアに尽力

2年次にはロシアへの派遣留学に参加しました。帰国後はロシア語

情報文化学科 山口 裕加

災害ボランティアに尽力 情報文化学科

情報文化学科 山口裕加

2年次にはロシアへの派遣留学に参加しました。帰国後はロシア語

災害ボランティアに尽力

情報文化学科 山口 裕加

のスピーチコンテストや検定にも挑戦しました。さらに4年次は、卒業旅行として1週間のヨーロッパ旅行も実現することができました。北の震災後の復興は私にとって重要なテーマでした。農業支援やがれき清掃などさまざまな活動を通じて、自分の肌で被災地の風を感じられたこと、多くの方と北の震災後の復興は私にとって重要なテーマでした。成長させて活動をして活動する後輩にしました。

員の皆さん、切磋琢磨して成長させてくれた友人、そして活動を引き継いでくれる後輩に心から感謝しています。ありがとうございます。

様々な立場から
ために活動で
いかと模索し
具体的には音
イベントの企
行い、またE
ボランティア
サークルを通
して他大学と

新潟国際情報大学 学報 国際・情報 平成27年4月発行 2015年度 No.1

新潟国際情報大学
学長 平山 征夫

卒業式

本日、ここに新潟国際情報大学の第18回卒業式を迎えるに当たり、まず初めに卒業回生諸君に心からお祝い申し上げます。「卒業おめでとう」。また、ご列席のご父母の皆さんにもお祝い申し上げます。4年間家庭から支えて来られたわけで、本日卒業式を迎えられ、喜びいかけかりかとご推察申し上げます。ご臨席いただきましておめでとうございます。開学以来本学に格別なるご支援を賜りありがとうございます。

卒業生の皆さんは今卒業式に臨み、4年間の大学生活の思い出が走馬灯のように駆け巡っていることと思います。楽しかったこと、苦しかったことなどが思い浮かんでいることでしょう。

4年前、皆さんは大きな希望に燃えて本学に入学してきました。そしてみずき野の四季は巡り、4年の歳月がたちました。みずき野でのキャンパスライフはいかがでしたか。弥彦と角田の山々を望む、この恵まれた自然の中でスポーツにいそしみ、友人と友情を育み、そして先生方の指導のもと勉学に励んだ大学生活は、皆さん輝いています。青春の尊い記念碑になることでしょう。

今春、みずき野から卒業生が次々と卒業式に出席してゆく中で、卒業式を終えて、卒業式に出席する学生は121人となりました。

「地域で生きる」ことも大きな価値を持つた人生

本日、ここに新潟国際情報大学の第18回卒業式を迎えるに当たり、まず初めに卒業回生諸君に心からお祝い申し上げます。「卒業おめでとう」。

また、ご列席のご父母の皆さんにもお祝い申し上げます。4年間家庭から支えて来られたわけで、本日卒業式を迎えられ、喜びいかけかりかとご推察申し上げます。ご臨席いただきましておめでとうございます。開学以来本学に格別なるご支援を賜りありがとうございます。

卒業生の皆さんは今卒業式に臨み、4年間の大学生活の思い出が走馬灯のように駆け巡っていることと思います。楽しかったこと、苦しかったことなどが思い浮かんでいることでしょう。

4年前、皆さんは大きな希望に燃えて本学に入学してきました。そしてみずき野の四季は巡り、4年の歳月がたちました。みずき野でのキャンパスライフはいかがでしたか。弥彦と角田の山々を望む、この恵まれた自然の中でスポーツにいそしみ、友人と友情を育み、そして先生方の指導のもと勉学に励んだ大学生活は、皆さん輝いています。青春の尊い記念碑になることでしょう。

今春、みずき野から卒業生が次々と卒業式に出席してゆく中で、卒業式に出席する学生は121人となりました。

わが身を振り返ります。

デフレ経済からの脱却を図ろうとする

「アベノミクス」は、昨年暮れの一段の金融緩和によりさらなる円安・株高が進行し、その分の景気回復による雇用情勢の好転は、それぞれが選んだ道に新たなスタートを切るわけです。実社会では大学時代とは比べようもない多くの困難にぶつかることがあります。プロの職業人として仕事で報酬を得るということは、もともとそれほど易しいことはありませんが、現在の世界の経済情勢をみると、皆さんの多くが所属する企業においては、それが企業にとっても容易でない時代であります。そうした時代を社会人として自立して生きてゆくのですから、しかも多くの困難に遭遇するでしょう。しかも大学で学んだことはすぐ役には立ちません。

だから、当面皆さんは迷い悩むことでしょう。でも、大学で学んだことは必ず役に立ちます。それは、あたかも地中に深く伸びて木を支える根のようだ。皆さんに人生で必要な栄養を送り続けるはずです。

みずき野で学んだことがこれから的人生で

利用してデフレから脱却しようとすると、大問題が話題となっていますが、所得格差などが問題になっています。フランスの学者トマ・ピケティの著書「二十一世紀の資本」の出版から世界的に「格差」拡大問題が話題となっていますが、所得格差とではありませんが、現在の世界の経済情勢を見ると、皆さんの多くが所属する企業においては、それが企業にとっても容易でない時代であります。そうした時代を社会人として自立して生きてゆくのですから、しかも多くの困難に遭遇するでしょう。しかも大学で学んだことはすぐ役には立ちません。

だから、当面皆さんは迷い悩むことでしょう。でも、大学で学んだことは必ず役に立ちます。それは、あたかも地中に深く伸びて木を支える根のようだ。皆さんに人生で必要な栄養を送り続けるはずです。

みずき野で学んだことがこれから的人生で利用してデフレから脱却しようとすると、「成長の持続」です。超金融緩和による一時的な心理効果を利用しても、さもなく持続的な経済成長を追求する考えがあります。一般的には「成長することは良いこと」ですが、「豊かになれば幸福になれる」と信じられています。でも最近、経済学者の中から「いつまで成長を続けければ良いのか」とか「続けられる月來日したピケティ氏は「格差」の固定化の問題指摘をしましたが、以前より大きな戸惑うたびに「考え、判断し、実行し、解決する力」として、生きる知恵として皆さんを救つてくれるでしょう。

その力をさらに高めるためにも卒業後も学ぶことをぜひ続けてください。私が社会人になつてからもずっと学び続けてきたバッカボーンとなつてゐる言葉があります。それを社会に船出する皆さんへのはなむけの言葉として贈ります。それは「インド独立の父」マハトマ・ガンジーの言葉です。ガンジーのことは皆さんも良く知つてゐるでしょう。「マハトマ」とは「偉大なる魂」という意味ですが、その名の通りガンジーは私たちに教訓となる言葉をたくさん残しています。それが、その中でも最も有名な言葉です。それは、「明日死ぬと思って生きなさい」という言葉です。生き方と学び方の神髄を示す

「何か」といった議論が聞かれています。よく真に社会に役立つ経済学の在り方と「幸福のための経済学」が重要であることに気付き始めたようです。世界は、先ほど申し上げたようにそう生易ったと思ひます。でもその恩恵が過疎高齢化に悩む地方にまで十分波及していないことがあります。実社会では大学時代とは比べようもない多くの困難にぶつかることがあります。プロの職業人として仕事で報酬を得るということは、もともとそれほど易しいことはありませんが、現在の世界の経済情勢を見ると、皆さんの多くが所属する企業においては、それが企業にとっても容易でない時代であります。そうした時代を社会人として自立して生きてゆくのですから、しかも多くの困難に遭遇するでしょう。しかも大学で学んだことはすぐ役には立ちません。

だから、当面皆さんは迷い悩むことでしょう。でも、大学で学んだことは必ず役に立ちます。それは、あたかも地中に深く伸びて木を支える根のようだ。皆さんに人生で必要な栄養を送り続けるはずです。

みずき野で学んだことがこれから的人生で



JABEE認定プログラム

10人の修了生に証書授与

卒業式に先立って、JABEE（日本技術者教育認定機構）認定による情報システム技術プログラム修了証書の授与式が行われました。平成26年度の同プログラムを修了した学生は10人。学長が一人ひとりに証書を手渡して勉学の努力をたたえました。

このプログラムはJABEEが認定する教育制度で、修了生は「技術士補」の資格が得られ、文部科学省令で定める技術士資格1次試験免除の優遇措置が受けられるとともに、情報システムを開発する技術者になるために必要な教育を受けたという社会的評価が与えられます。

情報システム学科では、情報とその関連分野の教育内容について2007年に11月にJABEEによって審査を受け、翌年5月に認定を得ることができました。12年11月には継続審査を受け翌年4月に認定が継続となっています。

これで本学を卒業し修了証書を取得した学生は合わせて121人となりました。

幸せにするためではなく、より成長し利益をあげるための仕組み」であるように見えます。こうした仕組みの中で生きてゆくことは、そう容易なことではありません。さんは今からそうした荒海に乗り出すのです。でもたじろいではいられません。賢い思考力・判断力と強い信念大いなる勇気を持つて挑戦しなければなりません。いつの時代でもそうやって時代を切り拓いていったのは若者だからです。もうひとつ現在盛んに議論されているのが「地方創生」です。昨年5月に「日本創成会議」が発表した「地方消滅」の報告は大きなショックをもたらしました。このままの人口推移と都市への集中および合計特殊出生率で推移すると、2040年には全国市町村の半分が立ち行かなくなる危険があるという報告だつたからです。そのため、昨年末の総選挙以降「地方をどう再生するか」が大きな政治テーマとなっています。皆さんは勇気をもって自分の人生を切り拓いてゆくと同時に、自分たちが住む地域故郷を維持し良くしてゆくことにも立ち向



理事長祝辞

学校法人 新潟平成学院
理事長 星野 元

今日の感慨を生涯忘れず 「再誕」を胸に力強く前進を

新潟国際情報大学の第18回卒業式にあたり大学設置者であります学校法人新潟平成学院を代表して一言お祝いと激励の言葉を申し上げます。本日をもつて卒業する27

4名の皆さん、卒業まことにおめでとうございます。併せまして多数ご出席いただきましたご父母の皆さんに心よりお祝いと感謝を申し上げます。また、年度末のお忙しいなかご来賓の皆さんも多数ご出席いただきありがとうございました。卒業生の就職をはじめ日ごろ何かとご高配を賜つておりますことも併せて深く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは今、胸に何が去来しているでしょうか。東に遠く飯豊、朝日の青い山脈を望み、西に大きく弥彦、角田山を仰ぎ見る、緑豊かな「みづき野」キャンパスでの懐かしい4年間の日々でしょうか。それとも苦しかったアルバイトのことでしようか。一人ひとり振り返る思い出感概は違うでしょうが、本日この日の、いま現在の心に思うことをどうか生涯忘れないでほしいと思います。

新しいステージを迎える旅立つ時に、よく荒海に漕ぎ出す船に例えますが、これは単に「波が高い荒れ狂う海」という意味だけではなく、波静かな海であつても、理解できないような矛盾や非常識といったものが浮き沈みし、また暗い海底には、許されないような不合理や不条理なことが沈殿、堆積しているとの意味もあるかと思います。そうした大海原を今のところは小舟のようになります。皆さんは乗り出していくかなければならないのです。

20世紀の終わり、これから21世紀を迎えようとしている時に、しきりに「戦争の世纪」との決別が叫ばれ、世界の多くの人々がそれを決意し、また期待をしました。しかし、現実はどうでしょうか。民族間、地域間の紛争をはじめ宗教上の対立などから戦火は無くなるどころかむしろ激化するような局面が続いている。さらにはテ

かつて欲しいのです。「地域で生きる」ということにも大きな価値を持つた人生を送つてください。卒業式に当たつて毎年申し上げていることがあります。それは卒業後も自分の人生に夢を持ち、その実現に向かつて前進してほしいということです。その実現が難しいからといってそれを時代や他人のせいにせず、諦めずたゆまぬ努力をしてください。夢が実現することも大切ですが、それ以上に夢の実現に向かつて努力をすることこそが大切です。なぜなら、それが自分の人生を価値あるものにする唯一の道だからです。自分の人生は自分の足で立つて、前を向いて自分の手で未知なる道をかき分けて進んでゆくしかないのです。全力を尽くした人生を送つてください。生きたいと青年海外協力隊に参加し、ケニヤ・ナイロビの熱帯医学研究所に勤務した長崎大の若い医師の実話が基になっていますが、「空を切り裂いて落下する滝のように僕はよどみない生命を生きたい。キリマンジャロの白い雪。それを支える紺碧の空、僕は風に向かつて立つライオンであります」という歌詞に私は言っています。

「重要なのは行為そのものであつて結果ではない

何の結果もないのだから」

卒業式の式辞としては、ずいぶん説教めいた話になつてしましましたが、もう一つ確立し、人間味あふれた人生を送つてください」ということです。私の友人の「さだまさし」さんの歌で、現在映画化され上映中の「風に立つライオン」は、シユヴァニアツァー博士のように生きたいと青年海外協力隊に参加し、ケニヤ・ナイロビの熱帯医学研究所に勤務した長崎大の若い医師の実話を基になっていますが、「空を切り裂いて落さずする滝のように僕はよどみない生命を生きたい。キリマンジャロの白い雪。それを支える紺碧の空、僕は風に向かつて立つライオンであります」という歌詞に私は言っています。

自分でどうにかできるものではなく生きているうちに分かるとも限らないが、正しいと信じることを結果がどう出るにせよ、行いなさい」とが、正しく思われるのです。

自分でどうにかできるものではなく生きているうちに分かるとも限らないが、正しいと信じることを結果がどう出るにせよ、行いなさい

自分がどうにかできるものではなく生きているうちに分かるとも限らないが、正しいと信じることを結果がどう出るにせよ、行いなさい

自分がどうにかできるものではなく生きているうちに分かるとも限らないが、正しいと信じることを結果がどう出るにせよ、行いなさい

自分がどうにかできるものではなく生きているうちに分かるとも限らないが、正しいと信じることを結果がどう出るにせよ、行いなさい

最後に卒業後も本学に想いを寄せてくださいであります。本学は毎年歴史を重ねながら、より地域に必要な大学であり続けるとともに、この地域で活動している本学の卒業生にとつて、誇りの持てる母校であり続けたいと願っています。時折、「学長、私卒業生です」と声をかけられます。その時「おお！ 社会人としてしつかりした人生送つていいな」と感じることは、学長としてこの上ない大きな喜びです。皆さんも見かけたら声をかけてください。みづき野に春の訪れが感じられてきました。それは皆さん卒業生を送り出し、新入生を迎える春でもあります。人々は春とともに新たな人生に向かつてスタートを切ります。皆さんはこの春、社会人としての人生に歩み出します。そんな皆さん前途に幸多かれとエールを送つて私のお祝いの言葉をいたしました。

平成26年度卒業式

274人が新たな船出

晴れやかに新しい社会へ果立つー平成26年度(第18回)卒業式が3月22日、新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)で行われ、274人(情報文化学科106人、情報システム学科168人)が新たな人生に向かつてスタートしました。

式典は学位記授与から始まり、まず卒業生全員が名前を呼ばれて登壇し、平山学長が一人ひとりと握手し「おめでとう。頑張ったね」などと前途を祝福しました。学長は式辞で「実社会の荒海に乗り出してもたじろがず前を向いて未知なる道を進もう。卒業後も学び続け全力を尽くし納得いく人生を送ろう」と激励しました。

卒業生を代表して情報文化学科の荒

木円花さんが答辞で、ロシア語の諺を引用し「友情と親交はどんな富にも替えられない。大学での奇跡の出会いは大きな財産。4年間で学んだ力を生かして社会での使命を果たしたい」と力強く決意を述べました。

最後に卒業生と教職員と父母らと一緒に、吹奏楽部の演奏に合わせて校歌をコンサートホールに響かせ「友と歩もう夢創る道を」と歌い祝福しました。

引き続き恒例の祝賀会が夕方、A.N.Aクラウンプラザホテル新潟で開かれました。晴れ姿の卒業生たちは教職員と別れを惜しみ前途を祝し合って、杯を重ね記念撮影を繰り返し、和やかに学生時代最後のパーティーが盛り上がらりました。

荒海でもたじろがず 未知なる道を進もう



第18回までの卒業生は合計5,244人に

| 年 度 | 卒業者数 | 情報文化学科 | 情報システム学科 |
|------------|--------|--------|----------|
| 平成9年度(第1回) | 295人 | 116人 | 179人 |
| 10年度(第2回) | 290人 | 124人 | 166人 |
| 11年度(第3回) | 303人 | 126人 | 177人 |
| 12年度(第4回) | 294人 | 116人 | 178人 |
| 13年度(第5回) | 291人 | 118人 | 173人 |
| 14年度(第6回) | 277人 | 111人 | 166人 |
| 15年度(第7回) | 314人 | 118人 | 196人 |
| 16年度(第8回) | 294人 | 115人 | 179人 |
| 17年度(第9回) | 299人 | 121人 | 178人 |
| 18年度(第10回) | 278人 | 110人 | 168人 |
| 19年度(第11回) | 312人 | 126人 | 186人 |
| 20年度(第12回) | 285人 | 117人 | 168人 |
| 21年度(第13回) | 267人 | 105人 | 162人 |
| 22年度(第14回) | 310人 | 117人 | 193人 |
| 23年度(第15回) | 272人 | 110人 | 162人 |
| 24年度(第16回) | 294人 | 113人 | 181人 |
| 25年度(第17回) | 291人 | 124人 | 167人 |
| 26年度(第18回) | 278人 | 107人 | 171人 |
| 合 計 | 5,244人 | 2,094人 | 3,150人 |

*9月卒業生含む



学長賞(学業成績優秀者)

情報文化学科(総代)

情報システム学科

荒木 円花
鈴木 桃子

学術賞

情報文化学科

新潟ロシア語スピーチコンテストにおいて3年連続入賞し、うち2回を優勝するなど優秀な成績を修めた。

荒木 円花
鈴木 桃子

五十嵐 風望

第11回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト新潟予選大会において優れた表現賞を受賞し、またHSK6級を取得するなど優秀な成績を修めた。

荒木 円花
鈴木 桃子

情報文化学科

第12回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト新潟予選大会において優れた表現賞を受賞し、また中国語検定試験2級を取得するなど優秀な成績を修めた。

荒木 円花
鈴木 桃子

課外活動賞

情報文化学科

第12回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト新潟予選大会において優れた表現賞を受賞し、また中国語検定試験2級を取得するなど優秀な成績を修めた。

荒木 円花
鈴木 桃子

情報文化学科

学友会執行部の中核として3年間活動し、さらに2年間にわたり学友会長を務めて学友会活動の活性化に多大な貢献をした。

荒木 円花
鈴木 桃子

情報文化学科